

水を使うということ

洗足学園中学校

二年 佐藤 明莉

お風呂にシャワー、炊事、洗濯、トイレなど、私たちは日常で当たり前のように水を使っています。しかし、「一日に何リットル使っていますか？」と訊かれて即答できるほど、日々の水の使い方を意識している人は少ないのではないのでしょうか。当たり前のことだからこそ、しっかりと水について考え、使い方を見直す必要があると思います。そこで、水の使い方について考えていきます。

地域やライフスタイルによって多少差がありますが、日本人一人あたりの水の使用量は平均すると一日約二八九リットルだそうです。二八九リットル：一リットルのペットボトル二八九本分です。一人でもそんなに使っているなんて、と、正直とても驚きました。ちなみにヨー

ロッパでは平均一五〇リットルほどで、日本の約半分です。

さて、私たちは普段それほどたくさんの水を使っているわけですが、実は、人間らしいくらしをするために一日に最低限必要な水の量は約五〇リットルとされているのです。先程の二八九リットルと比べると約六分の一程度。とても少なく感じますが、本当にそれだけの水でくらせるのでしょうか。気になった私は、家族にも協力してもらい、一人一日五〇リットルまで水の使用量を減らすことを目標として、節水を徹底した生活をしてみることにしました。

朝の洗顔。洗面器に必要な分だけ水をはり、その水だけを使って顔を洗うことで約六リットルの節水になります。お風呂のシャワーはこまめに水を止めることで約二四リットルの節水に、外から帰ってきて手を洗うときも同様に、こまめに水を止めることで約八リットルの節水になります。洗濯はすすぎ一回にして約一五リットルの節水。お風呂のお湯は沸かし直して入れれば約一二〇リットル節水できます。

これらを実践した結果、一人が一日に使った水の量は

約七六リットル。目標とした五〇リットルには届かなかったものの、約六五パーセントの節水に成功しました。

今回、水の使い方について自分なりに調べて実践してみても、少し意識を変えただけでこんなにも節水につながるのだとわかり、これを続ければもっと節水に貢献できるかもしれないと思い、少し嬉しくなりました。

しかし同時に、私たちが普段どれだけ水を使いすぎてしまっているかということもわかりました。私たちのくらす日本では、水は蛇口を捻れば当たり前に出て、ものの一瞬で流れ去ってしまいます。しかし、それを決して当たり前と思わず、無駄にしまっていかないか考え、常に節水を意識することが、水を大切に使うっていくということの一步になると私は考えています。今回わかったことをいかし、水を大切に使う生活をこれからも続けていこうと思います。